

卒業時アンケート（学部対象）

対象 : 学部卒業論文提出者
 実施期間 : 2017 年 1 月 4 日(水)～6 日(金)
 実施方法 : 教務係へ卒業論文を提出しに来た者に、アンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらう。また回収箱は評価・広報室前掲示板にも設置した。
 論文提出者 : 183 名
 回答者数 : 160 名
 回答率 : 87.4%

結果まとめ **質問ごとに(全体) (実数)**

【専修】 所属する専修は次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T		
哲学・思想文化学	倫理学	中国哲学	インド哲学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	日本学	人文地理学	日本語学	日本文学・国語学	比較文学	中国文学	英米文学・英語学	ドイツ文学	フランス文学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	専修名無効	合計
3	11	0	1	15	5	12	3	14	6	11	16	3	2	19	0	3	9	14	8	5	160
15				35				31			21			22			31				
哲学ブロック				歴史学ブロック				日本学ブロック			東洋文学ブロック			西洋文学ブロック			芸術ブロック				

質問 1 あなたが所属する専修において開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
72		75		10		1		1	

質問 2 あなたが所属する専修において開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
54		86		17		1		1	

質問 3 あなたが所属する専修において開講されている授業の内容は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
84		61		12		1		1	

質問4 文学部の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
45		60		46		7		1	

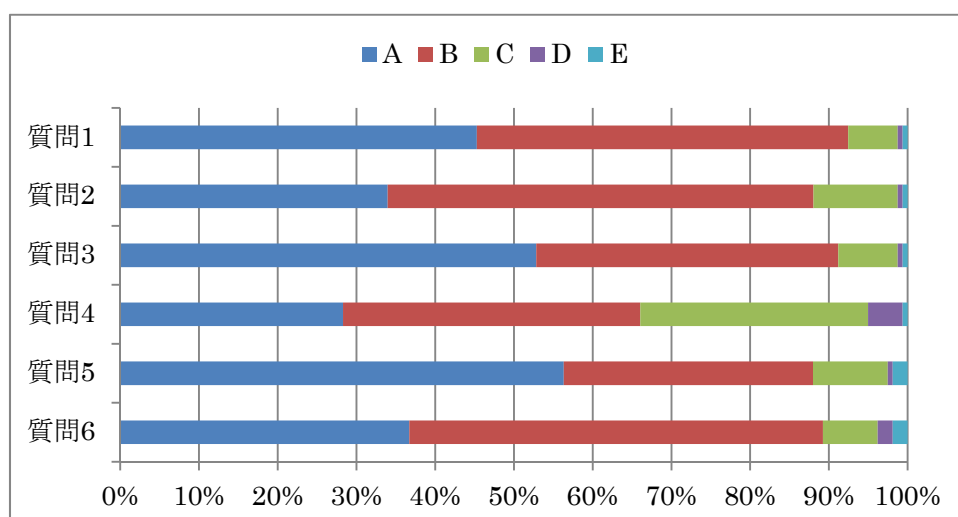
質問5 卒業論文の作成や日常の研究について、教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
89		50		15		1		3	

質問6 大阪大学文学部での勉学は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
58		83		11		3		3	

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学部での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いて下さい。

【授業について】

教職に対する配慮がもう少しなされているとうれしかった。(これは阪大全体についてですが)

他学部でも面白い授業が色々あるので、シラバス以外にそれらを知れる手段があれば良かったと思います。

演習授業がもう少し多いと良かったです。

【卒論について】

卒論提出日初日まで 1 週間図書館が開いていないことで困っている人がたくさんいたように見受けられる。

卒論締切日直前には、総合図書館が開いていて欲しい。

卒論提出日が早過ぎます。

卒論の提出時期が早いと思います。

各分野での論考の方法が違うと思うので第 1 回目の講義で教えていただきたいです。

卒業論文の指導をより丁寧に長くしていただきたいです。

【教員について】

指導教官には大変お世話になりました。

【教務について】

文学部教務は親切で良い。

生協などの施設と、教務の開く時間をそろえて頂きたかったです。

【設備・教室について】

受講者が多い講義だと黒板やスライドが見つらくて少し困りました。

文学部に自習室があることを知らなかったのもっと活用を促すのが良い。

教室の機器がうまく起動して欲しいと思うことがありました。

PC からディスプレイに映し出すのに先生がよく苦戦していた。教室側も分かりやすく改善してほしい。

文法経のトイレが詰まりやすいのは本当にきついでどうにかしてほしいです。

文法経のあの独特なおいがどうにかなればと思います。

日本学棟の改修をぜひ！

ホワイトボード教室で自習したい。

美学棟に休日や 18 時以降学部生が入れないのが不便。

年末年始は申請制でないと学部棟には入れないのは非常に不便。

【その他】

第 2 セメスターのコマ数を考え、留学に短期で行けるプログラムなどがあるとよい。

文系の総長をもっと輩出するべき。

1 名でもオーバーなら専修試験を行うというのは少々気の毒な話です。堤教授は 1 名増えても受け入れる意思を示しておられます。何卒ご検討願います。

授業間が 10 分では移動が間に合わないときがある。(前の授業が長引いた時特に)

内容が偏りすぎ、wifi がない、グローバルでない、就職に不利。

質問 6 の「不満」は個人の不勉強に帰するものである。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。子供ができたなら入学させます。

ありがとうございました。

これまでお世話になりました。

自由記述欄についてのご回答

多数の意見を寄せて下さり、ありがとうございました。今後の改善のために活用いたします。

附属図書館や各研究室以外にも、自主学習のためのスペースとして、研究推進室の学生自習室（PCの貸出も行っております）や教育支援室があります。リサーチ・コモンズは学習のほか、各種ミーティングや課外活動にも利用できます。

年末年始の文学部の各建物への入構は可能ですが、警備上の問題もあり、事前申請が必要となっています。ご理解ください。

論文提出期間については、卒修了判定や口頭試問、査読時間の確保の点から後ろ倒しすることは難しい状況にあります。附属図書館の問題は、全学的な問題ですので、すぐには実現できません。事前に計画を立てて、準備しておくことをお勧めします。

なお、文学部では教職員を対象としたハラスメント問題に関する啓発活動を継続的に行っています。ハラスメント問題委員会や教育支援室に学習・生活相談デスクを設けて、相談に応じていますので、気軽に相談してください。また全学にもハラスメント相談室があり、相談に応じています。